

ごあいさつ

財団法人 日本テニス協会
会長

畔柳 信雄



日本のテニス界の普及と発展に多大なる貢献をしております全国実業団対抗テニストーナメントが第25回を迎え、ここ広島広域公園テニスコートに於きまして8回目の開催となりますことを心より感謝いたします。

今年この大会は、男子16チーム、女子15チームが参加し、実業団テニスの最高峰であるテニス日本リーグへの昇格をかけて戦う大変有意義な大会であります。近年テニス日本リーグにはプロ選手も多く参戦し日本の団体戦としての最高のレベルの大会となっております。今後も国内において、企業スポーツを通してテニスの普及発展に大きな役割を担っていく大会と期待されています。

企業スポーツの存続維持も、困難な時を迎えており大変な状況ですが、この実業団大会にご参加下さった企業の皆様、日頃の練習の成果を存分に発揮される事によって、日本の復興に活力を与える様になる事を期待しております。各企業の名誉をかけてプレーする選手の皆様と応援団の皆様が一体となって戦われる事で試合を観戦する方々にも企業の力強さを認識して頂けることと思います。

最後になりましたが、特別なご協賛をいただいておりますヨネックス株式会社様、そして本大会開催のためご尽力頂きました関係各位に対しまして、心から感謝申し上げますご挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ

財団法人 日本テニス協会
実業団委員会 委員長

矢澤 猛



JTA主催大会であります全国実業団対抗テニストーナメントが25回目となり、ここ広島広域公園テニスコートにて開催されるにあたり、出場されます各チーム、応援の皆様、並びに本大会の運営に協力頂いております関係者の皆様にご挨拶を申し上げます。

まず各地域での予選を見事勝ち抜き、この全国大会にお集まりいただきました各チームの皆様に、その努力と成果に対して祝意を表すと同時に、本大会に於きましても引き続き日頃の練習成果を遺憾なく発揮され、優勝を目指して頑張っていたきたいと思います。また残念ながら昨年度の日本リーグで惜しくも破れ、本大会での再挑戦をされるチームの皆様には、是非日本リーグ復帰を懸けて頑張ってくださいと思います。

ご存知かと思いますが、団体戦としては世界の最高峰でありますデビスカップ、フェドカップでは、今年度は両大会とも日本チームが日本でのプレイオフを制し、見事ワールドグループ入りを果たし、世界の16強になりました。特にデ杯では27年ぶりの悲願達成となりました。レベルは若干違っても日本の16強に挑む皆さんの心意気は同じだと思います。日の丸を背負う代わりに、各チームの社旗を背負っての戦いです。個人戦とは全く違う緊張感の中での試合は、各応援団の気合の入れ方も違ってきます。選手、応援団、大会運営の皆さんが一丸となって、この白熱した大会を盛り上げ、是非その感動を地元のみならず、被災地を含め全国に広めていただき、日本中を明るくしていただきたいと願う次第です。

最後になりましたが、大変お世話になっております中国テニス協会、広島県テニス協会、広島市テニス協会の皆様に感謝いたしますと共に、引き続きご協賛頂いておりますヨネックス株式会社様をはじめ、その他大会運営にご尽力頂いております皆様に対しまして心からお礼を申し上げます。